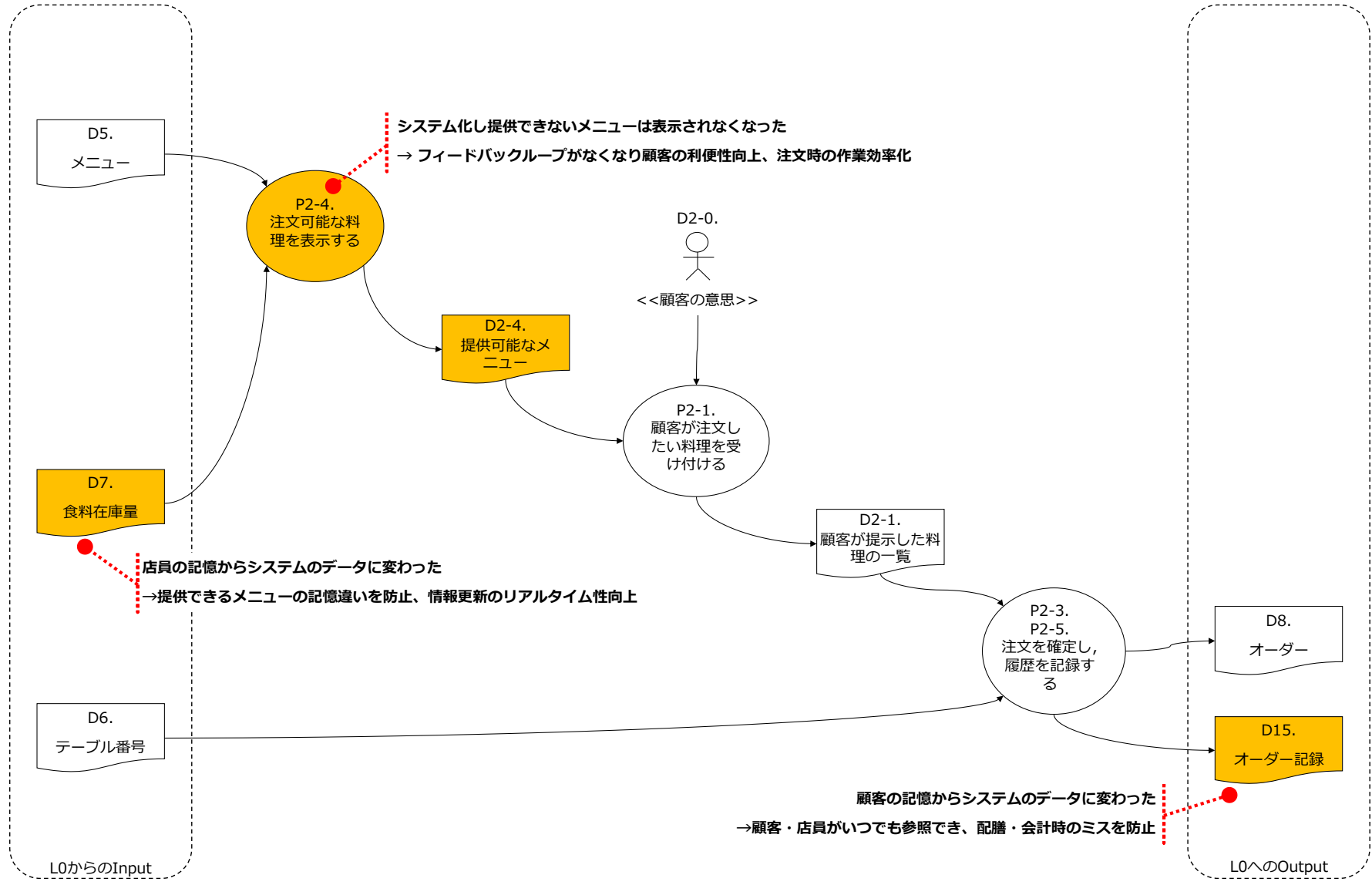


プロセス番号: P2	プロセス名: 注文を受け付ける(ToBe)	Rev: 1	作成者: 伊藤	作成日:(初期) 2020/2/9	更新日:	承認者: T21	部品
---------------	--------------------------	-----------	------------	----------------------	------	-------------	----



文書(複数で構成)
D1. XX設計書
文書(単一構成)
D2. 要求仕様書
レビュー実施
(R)
プロセス(下位層なし)
P1. 要求仕様書を作成する
プロセス(下位層あり)
P2. 試験をする
作成プログラム
D3. ソースコード DLL等
ツール・機器
T1. ツール
接続用フロー
→
←

要求	P2	注文可能な料理を一覧表示し、顧客からの注文を一つ一つ受け付け、全て注文料理を選択後、注文確定を確認する。
	理由	・売り切れのメニュー以外の注文を間違えなく受け付ける ・受け付けた注文を簡単に確認できる
	説明	タブレット端末を導入する。タブレット端末は店が用意する。
＜注文可能な料理の表示＞		
要求	P2-4	食品の在庫状況を取得し、提供可能な料理のみを一覧形式で表示する。
	理由	売り切れの料理は始めから注文できないようにしたい
	説明	
＜食品の在庫情報の取得＞		
□□□	P2-4-1	店の食材在庫管理システムから食材の在庫情報を取得する。
＜メニュー情報の取得＞		
□□□	P2-4-5	本社メニュー管理システムより、最新のメニューを取得する。
＜料理の一覧表示＞		
□□□	P2-4-11	料理の写真と金額を料理一覧として表示する
□□□	P2-4-12	在庫切れの料理は「売り切れ」という表示を載せる
＜注文受け付け＞		
要求	P2-1	顧客が注文したい料理について、注文選択による仮注文を受け付ける。
	理由	複数料理を一度に注文受け付ける
	説明	
＜顧客からの仮注文仮受付＞		
□□□	P2-1-1	料理の写真を押すと注文料理を仮注文受付リストに追加して、前画面に戻る
□□□	P2-1-2	仮注文受付リストに1つでも商品がある場合、注文確認ボタンを活性化させる
＜注文確定と記録＞		
要求	P2-3	注文確認画面を表示し、必要に応じて、仮注文の数変更やキャンセルを受け付ける。
	理由	顧客の注文間違えを減らしたい
	説明	
＜注文確定画面表示＞		
□□□	P2-3-1	一つでも注文受付リストに商品がある場合、全ての画面から、注文確定画面への遷移を受け付ける
□□□	P2-3-2	注文確認ボタンが押された場合、下記を注文受付の順番にリスト表示する ・料理名 ・数 ・単価 ・合計金額
＜仮注文の変更＞		
□□□	P2-3-5	注文確定画面では、注文数の変更、キャンセルを受け付ける
□□□	P2-3-6	リストに一つでも料理がある場合は、注文確定ボタンを活性化させる
要求	P2-5	注文確定後、調理指示し、注文履歴を記録する。
	理由	注文の履歴をいつでも確認したい
	説明	
＜調理指示＞		
□□□	P2-5-1	注文確認画面にて、注文確定ボタンが押されたら、確定注文として、厨房とホールに下記の情報を送付する ・オーダー番号 ・オーダー時刻 ・テーブル番号 ・料理名 ・数 ・金額 ・配膳の有無チェック
＜注文履歴記録＞		
□□□	P2-5-5	確定注文はタブレット端末に記録し、「注文履歴」ボタンにより、下記情報を表示できるようにする。 ・料理名 ・数 ・単価 ・合計金額

カテゴリ名 (記号)	要求	(要求番号) 理由 説明 要求		
		(要求番号) 理由 説明		
		<>		
		□□□	(仕様番号)	
		<>		
		□□□	(仕様番号)	
		要求	(要求番号) 理由 説明	
		<>		
		□□□	(仕様番号)	
		□□□	(仕様番号)	
カテゴリ名 (記号)	要求	REQ002 理由 説明		
			<XXX>	
		□□□	REQ002.1	AAA 【説明】 BBB
			<YYY>	
		□□□	REQ002.5	CCC
		□□□	REQ002.6	DDD